

magazine kobekko september 1967 no. 77

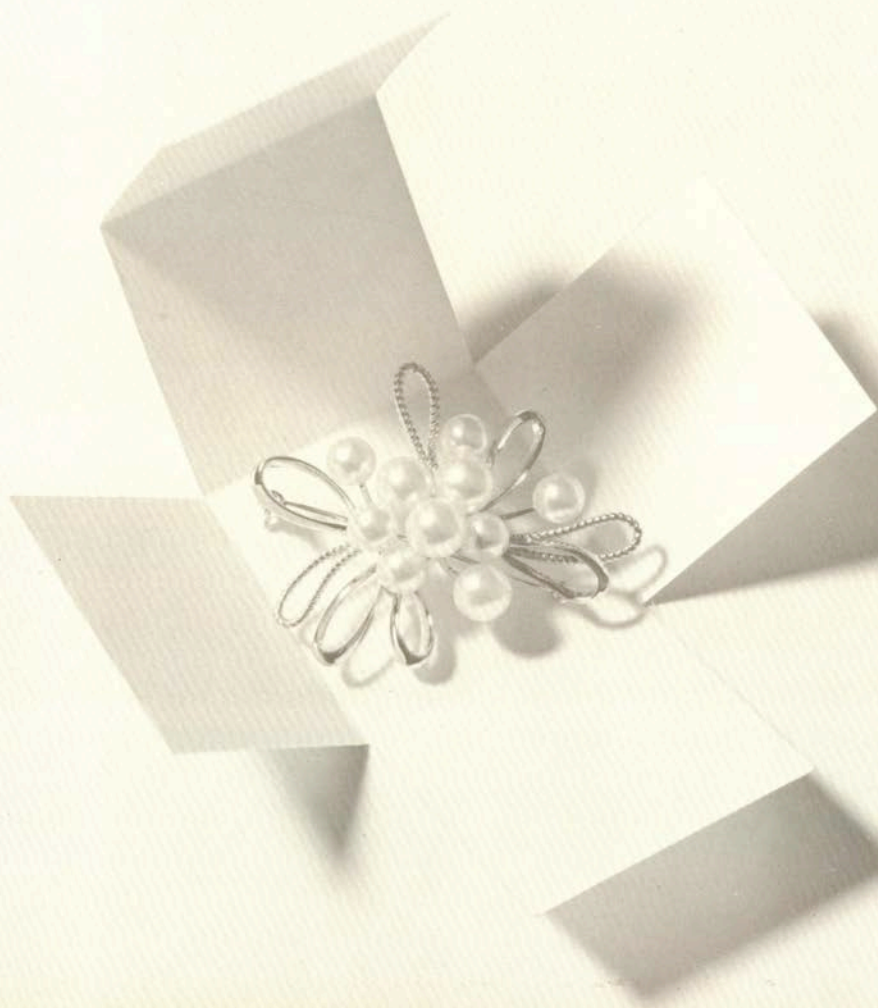
郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子



9

神戸っ子 昭和四十二年九月一日発行 通巻七十七号 昭和四十二年九月一日発行 毎月一回



優雅の極み

ミキモトパール

白い紙に書かれていく

言葉のように

ミキモトパールの

美しさは貴女の心に

鮮やかな印象を

記していきます



御木本真珠店

神戸店＝三の宮－神戸国際会館

Tel. 22-0062

大阪支店＝堂島－新大ビル

Tel. 363-0247

京都＝ミキモトパール京都（新門前通り）

Tel. 54-8171

都ホテル・京都ホテル・京都国際ホテル

大阪＝阪神・高島屋・松坂屋

本店＝東京－銀座四丁目



黒く日焼けした女たちの顔の中に 太陽の黒点の
ように しみやそばかすがちらばっている
その女の 白いコスチュームが
傾斜地を足早に 通り過ぎた。



名実ともに日本一の 地下街になりました

2期増築工事は順調に進み 9月1日からつぎつぎと
オープン 11月中旬には全店完成 大きさも 内容も
日本一の地下街として みなさまにお目見得します
10月には開店2周年を迎え 地下駐車場も開業 さん
ちかタウンとの連絡路には話題のオートレーン
“動く道”も開通する予定です
9月から11月まで“グレートさんちかフェア”として
いろいろな記念行事を用意しました さんちかタウン
がみなさまに贈る夢のプレゼントです ご期待下さい

グレートさんちかフェア

9月1日 開幕

9月 スイーツ・フードタウン増築記念セール
9月1日→17日

10月 開店2周年・地下駐車場開業
撮影会と写真コンクール

有名人サイン会・民謡おどり(予定)

2期増築工事完成記念

11月 世界を一つにグレートセール
11月1日→19日



Santica Town
さんちかタウン

ズームアップ

村井道子 〈昭和四十二年度「海の女王」〉

カメラ・浜岡 収

17

今年度の「海の女王」に選ばれた村井道子さんは、甲南女子大学（四回生）に在学中の美しいお嬢さん。今はとても自信がないけど、自分自身の教養を高め、知識を広めるよう一生懸命努力します」とキッパリと語る村井さん。バツチリと大きな瞳が印象的だ。「海の女王」に決定した時、家族の人には秘密にしていたそうで「パパとママに叱られちゃったよ」とイタズラっぽく肩をすくめて笑う。あでやかさと清楚な雰囲気ともった、明かると快活なお嬢さんである。

芝生の緑の中で、ゴルフのクラブを振る村井さん。そのスナナリと伸びきった美しい肢体、小麦色の肌に、初秋の陽光があたる時、彼女の清々しい魅力が一層冴える。ゴルフのほかに、旅行、ドライブ、手芸、ピアノを弾くことと、巾広い趣味をもつ現代っ子。昭和二十一年、西宮の生まれ。姉と二人姉妹。ショッピングや遊ぶ時など、すべて。神戸。という大の神戸ファン。

大学での専攻は国文科で、卒業には、高村光太郎の詩「道程」をとりあげるといふ文学好きのお嬢さん。これから学校の方とお仕事とあるので、忙しくなりそうノリとほりきる村井さん。ミナト神戸の美しいプリンセスとして、十分にその大任を果たしてくれることだろう。

〈尼崎の自宅にて〉



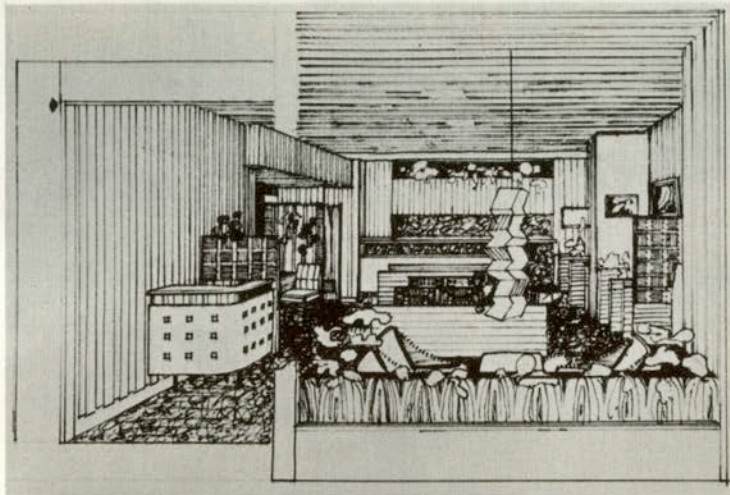
風月堂

さんちか

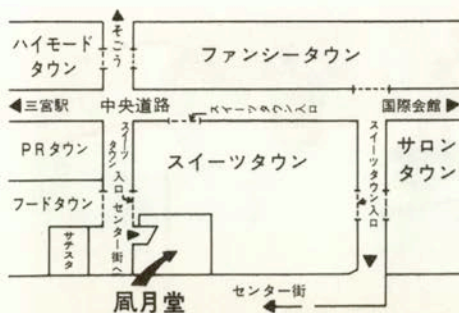
茶寮

9月1日

オープン!



さんちか唯一の和風茶寮が、みなさまの憩いの場として、ラジオ関西「サテスタ」の前に新設されます。いちばん求められるものをご満足願えるサービスで快適なムードの中にご満喫いただきたいと念じています。風月堂70周年の記念塔として、ご愛顧とご指導を賜われれば、これに過ぎる喜びはございません。



風月堂

本店 元町3丁目 TEL39-2412~6

さんちか店 スイーツタウン TEL39-3455

ズームアップ

大岩達和 〈大貴産薬KK社長・兵庫県発明協会会長〉

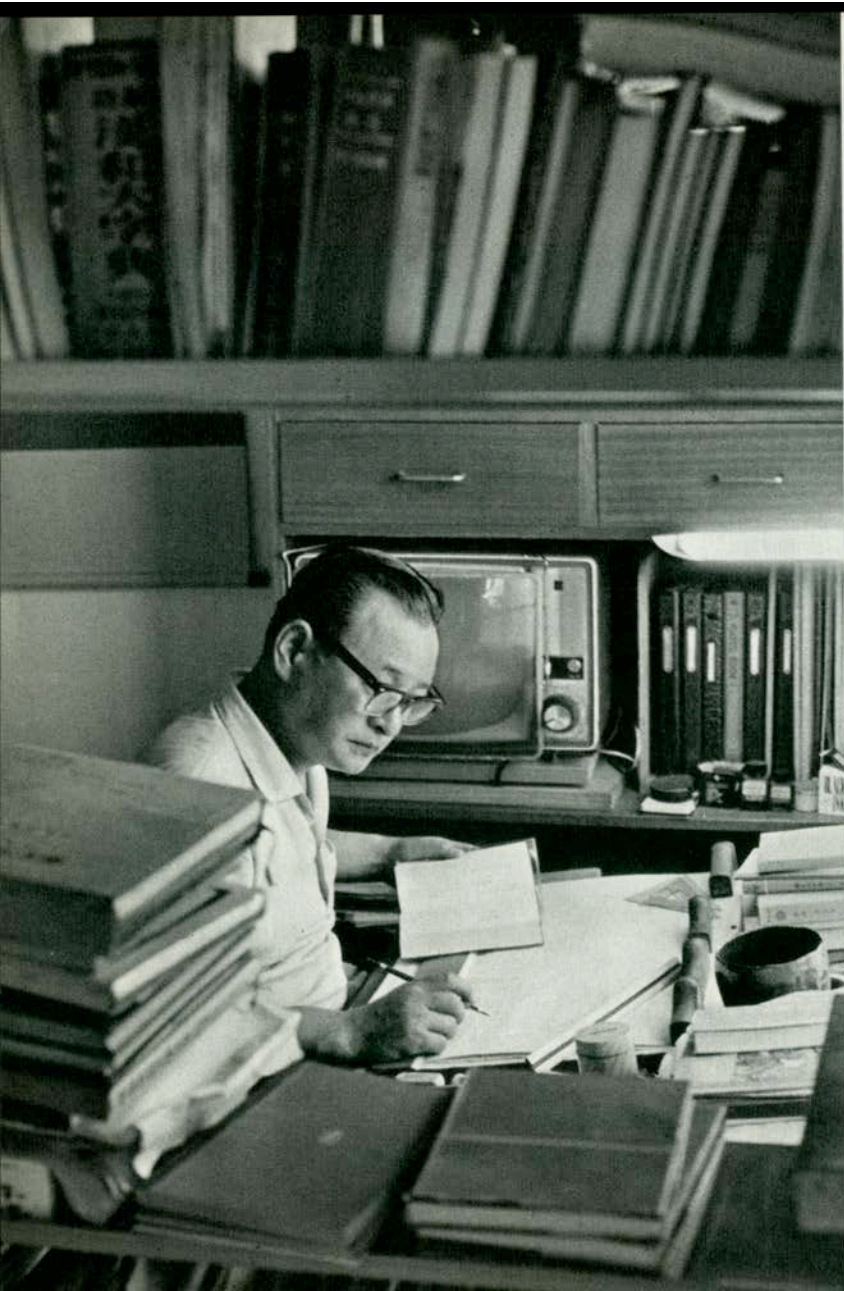
カメラ・浜岡 収

18

「困難な障礙や壁にぶつかると、ますますフアイトがわかります」とエネルギーに語る大岩達和氏。愛する神戸を美しい町にしたいと、十四年間かけて、コックツと研究を続け、ゴミのすべてを回収する簡易じんたい、焼却炉を完成し、果敢と研究活動と、超人的な活躍ぶり、でも体力には自信があります。五分間だけ熟睡すれば平気」とニコリ笑う。

播州赤穂の出身。神戸高等工業機械科卒。子供の頃から、数学や物理、機械いじりが大変好きで、発明のマネごとをしていたという。それ以来、より便利なもの、への発明工夫に没頭してきた。「発明なんて思いつきではなく、研究の積み重ねと努力です」と温厚な表情に瞳が輝く。今までの特許件数は一三〇件。現在、「有臭・有害ガス及び微細塵の処理装置について」の研究を申請中。また十二年前から、これが完成すると日本の造船界に大革命をもたらすような、スケールの大きい研究も続けている。スポーツにおいても剣道四段、詩吟も師匠格。料理も名コックと万能型。理論と実際とを一致させ、不屈の精神と根性をもった情熱家。大岩達和氏。研究、行動の両面における今後の活躍が期待される。四十九才。

（写真右は焼却炉の前にて。左は垂水区の自宅にて。）



TASAKI PEARLS



あなたの佳き日に タサキパール

田崎 真珠

本社 神戸市萐合区旗塚通 6-9
三宮店 神戸新聞会館秀品店内
銀座店 東京都中央区銀座西 6-5
パールファーム 溜池電停前(ショールーム)
ヒルトン店 東京ヒルトンホテル内
オータニ店 ホテル・ニューオータニ内
札幌店 札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークの
お店で日本真珠小売店協会加盟店



ある集い
「輪の会」



詩を創り、文学を論じ、人生を語って15年。「輪の会」は現代詩の分野で画期的な動きをみせている。

文学思想の変遷にみられる芸術革命の立場から従来の詩的概念をくつがえし、詩的表現や詩的構造の枠を根底から突き破ろうとするところのアバンギャルド（芸術前衛）の運動があり、もうひとつはこれとちがって社会的・思潮的な立場をとり、そこに一定の階級的性格をもつ無産階級文学の擡頭で、この二つは最初漠然とまじりあい、それに時代的変革の機運がうながされたといえる。

輪の会は後者の文学活動であるが、メンバーのひとりはいう「私たちはある意味で現代詩を通じて人間性の回復を計っているのです」……と。

教員、商店主、会社員、主婦、公務員と職業は多種多様なメンバーの構成であり、さる七月に発行したこの会の同人誌「輪」は23号目をかぞえている。内容は詩・創作・批評で、常に前向きな激しい息吹きを感じさせている。

写真は左から

海尻巖（農協職員）伊勢田史郎（会社員）中村隆（金物店主）直原弘道（不動産業）丸本明子（主婦）岡見裕輔（会社員）里見一夫（銀行員）なかけんじ（大学教授）北見哲哉（公務員）欠席同人―各務豊和（会社員）貝原六一（画家）灰谷健次郎（きりん主宰）桑島玄二（会社員・広島在住）赤松徳治（大学院生）

コトブキのデコレーション DECORATION CAKE ケーキ

寿本舗*

あなたの佳き日を祝福するウエディングケーキは
定評のあるコトブキへぜひご用命ください



9月1日よりさんちかタウン
にお菓子の寿本舗が誕生！
贈りものに、おみやげに
ひろくご利用くださいませ

コウベ・スナップ

帰ってきた！神戸へ帰ってきた！鹿島さんおかえりなさい！。出迎えの神戸っ子の顔。顔。顔。メリケン波止場は黒山の人だかり。鹿島さん感激の瞬間でした。
 <写真左>

歓迎の人波にもみくちゃになりながら、花束をしっかりと握りしめて神戸上陸した鹿島さん。



特設舞台の上にあがった鹿島さんをようようとおもった神戸っ子（神戸海上保安部西の広場で）



早速展示されたカラーサ号と写真展。神戸っ子の壮挙を喜ぶ市民たちでいっぱいになった神戸そごう百貨店前





真珠の輝やきが
ミンクの愛らしさが
モードの秋を呼びました



右/ダイヤ入りPM南洋真珠 ¥270,000(11¹/₂)
中/ミンクホモサファアアボア ¥40,000
左/ウールギャバフランス製スーツ ¥39,000
バッグ ¥49,000

村田*真珠/銀座山岡*毛皮/舶来婦人服飾

Murata



ムラタ

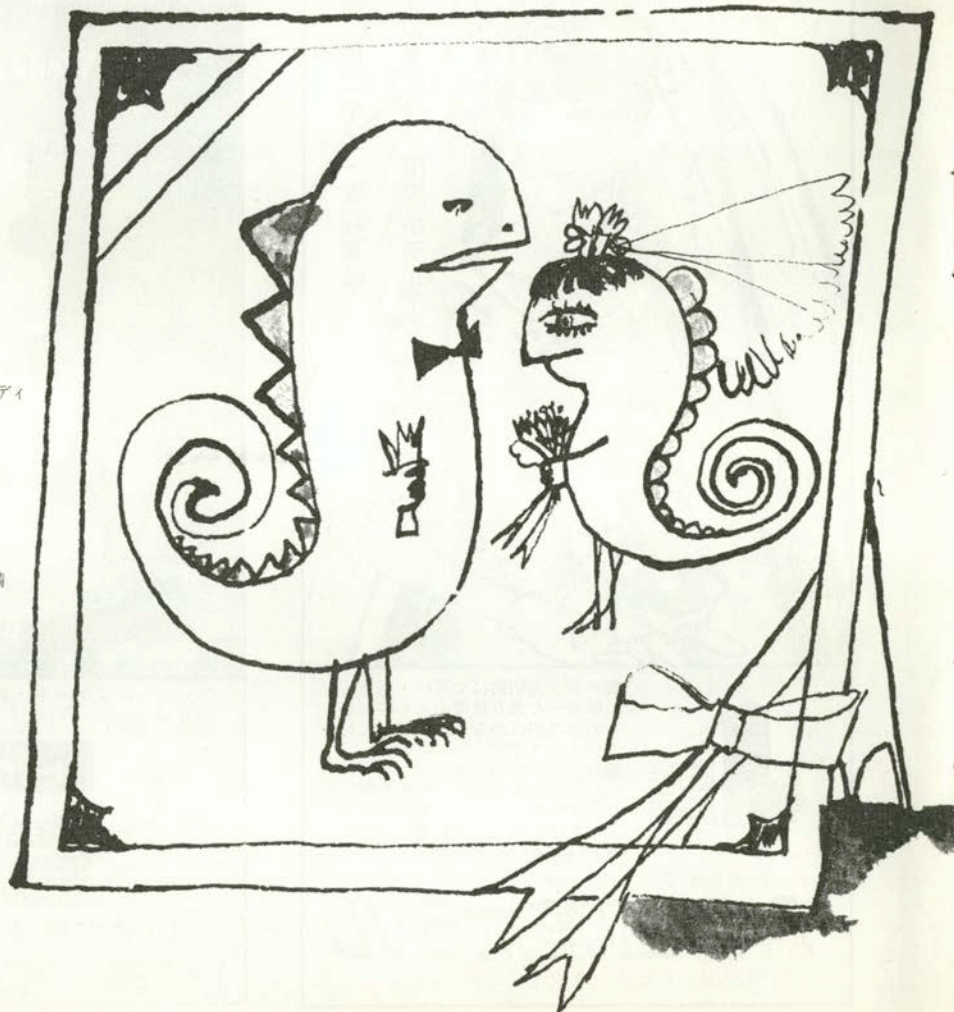
さんちか*レディスタウン・TEL 39-3886-7

9 月号目次

これは神戸を愛する人々の手帖です あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ これは神戸っ子の心の手帖です

表紙 小磯良平

- 1 Seconb Cover / 津高和一
- 3 ズーム・アップ / 撮影=浜岡 収
- ⑦村井道子 ⑩大岩達和
- 7 ある集い / 輪の会
- 9 コウベ★スナップ
- 13 わたしの意見 / 田中 茂
- 15 随想 / 秋に想う・宮地 孝
随想 / 秋・畑マズ子
随想 / 海から海へ・日下 晃
- 18 ある集いその足あと / 輪の会
- 21 随想 / 鎮魂の町ー神戸・楠本憲吉
- 23 随想 / ススキ・ハブラシ・市野弘之
- 25 随想 / 朝寝坊と早起き・十河 巖
- 29 神戸っ子対談 / 直木太一郎・永田良一郎
- 33 経済ポケットジャーナル・KOBEOフィスレディ
- 34 技術ジャーナル / SDC工法・諸岡博熊
- 37 バイオニア神戸⑨ / ランバス・有井 基
- 43 永井達七さんを悼む / 竹田洋太郎
- 44 神戸アーバンデザイン / 水谷顕介+
- 神戸モダンリビング / チームUR
- 46 CINEMA⑭ / 淀川長治
- 48 動物園飼育日記⑩ / 亀井一成
- 51 Let's Go American Foot Boll⑨ / 米田 満
- 52 KOBELook / 福富芳美
- 54 結婚特集(1) 愛の日のために
- 77 対談 ■ 冒険と恋と神戸
鹿島郁夫 / 聞く人・足立巻一
- 89 男の気持⑧ / 向井修二
- 92 神戸遊戯誌④ポート<2> / 青木重雄
- 97 れんさいマンガ⑩ベツコ / 永井文明
- 99 ミニミニ神戸っ子
- 100 ポケットジャーナル
- 104 結婚特集(2) コント / あ・結婚=春木一夫
- 114 連載小説=兵庫の女<十九回> / 武田繁太郎
- 121 対話12ヶ月
対話=安水稔和・カメラ=緒方しげを
カメラ / 米田定蔵・赤松慶三郎
レイアウト・カット / 港野千穂





晴れの日の挙式・披露宴は
港をのぞむ神戸国際ホテルで



- 神戸三宮駅前にて国鉄・阪急・阪神へと最も足場がよく参列者のかたがたからご好評をいただいております。
- 新婚旅行宿泊ご優待
挙式されましたお二人様を新大阪ホテルチェーンのホテルへ泊ご優待申し上げます。
- 披露宴お一人様2,000円より

新大阪ホテルチェーン

神戸国際ホテル

神戸国際会館内 TEL <22> 8051

あたたかい祝福に包まれた
おふたりのよき日のために

Wedding Cake



ウェディングケーキ・お菓子のお値段は、ご希望に応じて如何ようにもご調整申し上げます。

ドイツ菓子

Fachreim's

ユーハイム

ドイツ菓子 ユーハイム

本店 神戸市生田区下山手2-31(生田神社前) 電話(33) 0067, 1694, 8063
三宮店 神戸市生田区三宮町3-15(大丸前市電駅) 電話(33) 2101, (39) 3808
さんちか店 神戸市三宮地下街スイーツタウン 電話(39) 3 5 3 9

災害対策には 英断を



田中 茂


〈神戸大学教授・工学博士〉

今回の災害は戦後の神戸にとっては最大のものであった。ことに三十才以下の若い人達にとっては空前のもので、大きな驚きであったに違いない。かねてより豪雨災害について研究を行ってきた私は、昭和十三年七月の豪雨災害と今回のものとを比較検討して、今後の教訓とすることは誠に有意義なことだと思う。

神戸では過去において、記録的な降雨が長時間襲来するたびごとに、裏山でガケ崩れや山腹崩壊が生じ、またそれにとまらぬ土砂流木などが流出する河川、ミゾ、暗渠などの溢水による災害が、神戸の地形、地質の特性から発生した。しかし、昭和十三年災害以降、築造せられた砂防ダムが土砂の流出防止に大きな役割りを果たしたが、他面、宅地造成などによる災害が近年増加したことも事実である。山腹斜面などで崩壊防止のための予防工法の効果的なものが施工されていないことは残念なことであるが、これについて一言する。

斜面崩壊は大別して表流水の溢流によるものと、浸透水の貯溜による上昇水面が斜面の表面に出現して、ちょうど斜面にパイプをつきさして、ぬきとったあとと穴から土面がゆるみ水が吹き出すパイピング現象を生ずることに起因するものになるが、後者によるものは瞬間的に斜面の大崩落を起こすので人命を失いやすい。降雨の継続時間と強度が大きくこの種の崩壊に関係があるが、従来の工法ではこの崩壊を防ぐことは不可能である。今回の七月豪雨のように比較的うすい斜面の崩落をみたが、十三年七月の水害のもののように表土層の厚いものまでもが大崩壊を生じたことを考えると、この種の崩壊透水の浸水面が、斜面に浸出しないようにすれば防止は可能であり、私はむしろ工法ではないと思う。

理に叶った工法の研究成果の早期実施を強く望むとともに県市当局、災害対策で、復旧のみではなく、改良するということを重視して、予算その他にとらわれず、合理的な工法に対して、勇気ある判断することが大切だと思う。



Sugiya

*ランジェリー
*ブラウス
*セーター
*ワンピース
*スーツ

Sugiya.

TEL <33> 3436

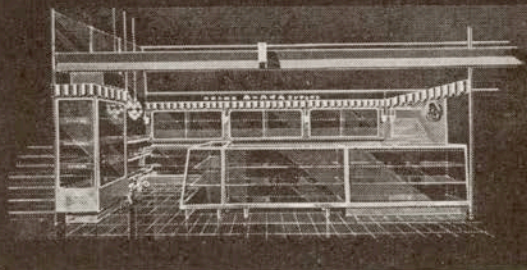
トア・ロード市電大丸電停前



さんちか店

9月1日

OPEN



北 欧 の 銘 菓

ユーハイム コンフェクト

本社・工場 神戸熊内町1丁目 TEL22-1164・9865
熊内店 (市立美術館東隣)
三宮店/神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL33-7343・0156・4314
垂水店/国鉄垂水駅ショッピングセンター・元町店/神戸元町シッ
クスタウン・神戸デパート店/長田区大橋5丁目・甲子園店/国鉄
甲子園口駅(北口)・芦屋店/国鉄芦屋駅南通・堂島営業所/大阪堂
島中町ビル地階・梅田店/大阪梅田地下センター・栄町店/名古屋
栄町ビル地階・千種工場/名古屋千種区若水町・大丸店/神戸・京
都・阪急店/神戸・大阪・三越店/神戸・丸栄店/名古屋・オリエン
タル中村/名古屋・大阪国際空港・神戸鉄道弘済会・丸物店/豊橋
松菱店/津・姫路駅デパート・明石ステーションビル・南千里山店

随想三題



秋に想う

宮地 孝 絵も

〈洋画家〉

私の先生は先年亡くなられたが、吉田秋光といって、帝展時代に一科（日本画）で活躍された温厚な方である。美術学校では故松岡映丘先生の教室で学び、学友に故葛谷竜岬、故矢沢弦月、現在日展の川崎小虎などの先生方がいた。先生の庭は秋ともなると錦繡の色美しく、先生の雅号のように、くまなく秋光に包まれる。

まづ朝顔が芒の茎からんで、露を含めば、萩が紅の小花を散らし、桔梗、撫子、女郎花、吾亦紅、

りんどう、紫苑等の花がつつましく咲いて、全庭に秋の気配が漲る。或るとき、私を含めて悪弟子が二、三人で、奈良の秋に旅し、公園の奥にあった春日様式の小さな祠を、三人共謀して盗取り、東京に持ち帰って、先生の庭の、赤松の根元においた。

その年だったか、先生は、この庭を題材に、六曲一双の「秋のけはい」という作品を制作された。その作品の一部を、当時十九才だった私は、感激をもってお手伝いした。ところが、この作品が特選になり、それが若い私には自分が受賞したようにうれしく、誇らしかった。

秋光先生はある婦人雑誌の小説の挿絵をたのまれて描いたことがある。それを頼みにきたのが中村

秋人という年輩の記者だった。私も「秋」という字をつかって自分の雅号をつくりたいと思ったが、ついにできないで油に転向してしまった。

昔読んだ教育書のなかに、「芸術家が敏感であることの必要は言うまでもないが、学校の先生も敏感でなければいけない」とあって、「——むんむんと草いきれのする夏草のむらがりからも何となく秋を感じます——」という意味の或る小学校先生の手紙の一節をあげて、盛夏に秋を感じる敏感さを褒めていた。——秋きぬと目にはさやかに見えねども——の敏感さである。

日本人は、由来もののあわれを感じる敏感な人種である。

もののあわれは秋にきわまる見渡せば花ももみぢもなかりけり

浦のときまの秋の夕暮れ
静寂と清浄の中にあわれがある
日本人が、かつて育ててきた精神生活のなかの、もののあわれは、静寂と清浄を求むべくもない現代人のなかで、次第に薄れ、忘られていくのではないか。

私自身ここの数十年來、季節の感情を味わわずに過ごしてきた。秋とても、もののあわれを感じる秋でなく、血まなこになって絵を描

く秋でしかなかった。美術の秋は
絵描きにとって戦の秋である。

現代の大きな虚像の前に、あ
れを思うゆとりが全く失われてお
りはいないか。春には春の、夏に
は夏の、秋には秋のあわれを思う
心のゆとりを、もう一度私たちの
生活のなかにとりもどしたいもの
である。

秋

畑マス子

△人形教室主宰▽

わたしはひとり

黙々と歩いていく

秋風の身にしみる夜半に

細いひとすじの野路^{のみち}には

ひとかげもない

その野路をしずかに包む

月の光が

私に幼い日をおもい出させて

くれる

× × ×

私の人形制作への夢は、幼な心
のファンタジーを、メルヘンの夢
と詩を、恋のよろこびとさいわい

を歌わせ語らせ、そして生命のく
るしみと生活のはげしさを表現す

ると共に、私たちの実存的な生活
を人形の象^{たち}において、リアルに表

出しようとする意欲をもっており

ます。私が創り出す人形の一つ一
つが過去を昇華し、新しい生命を
つくり出してくれるのです。

× × ×

わたしは歩いていく

私自身をみつめるにふさわし

い夜道を

なんというやさしい月の光

私自身を見つめるにふさわし

い夜道を

なんというやさしい月の光

うつりゆく自然と人生のあわ

れを

それとなく私の胸にうったえ

ているように見える月

とぎすまされた人間の知性が

自らの無力をあきらめて

あえて大地にひれ伏す祈り

それはなにものによって

きかれるのか

さまよいつつ

今宵もあのそらの

ふかみにたずねるまことよ

あきかぜの

身にしむ夜半に

わたしはひとりのかなしい

たましいを

抱きしめつつ

× × ×

自然が人間にさびしさをあたえ
ているのには深い意味がありそ

です。

さびしさの深みからはぐくまれ
るもの、そこに深い芸術があり宗
教があると思うのです。

さびしさにおぼれずしてさびし

さを生かすことこそ美しく、意義

深いことではないでしょうか。

× × ×

毎秋のことながら、△△展○○

展と賑やかな美術の秋のお祭りが

始まりつつあります。ものを創る

ものにとつては、ことさらにゆっ

くりとささやかなもののあわれ

や、ひっそりと虫の音を楽しむと

いった秋の風物詩にひたるまでに

は、ひと苦勞も、ふた努力も味わ

わねばなりません。七月八月のう

だるような暑さのさ中、汗と土と

石膏にまみれての制作、やっと一

段落してはっと一息ついたとき、

いつの間にかわたしの好きな秋風

がわたしのまわりを通りすぎるの

に気がつくのです。

海から海へ

兵庫県縦断踏破・学術調査隊

日下 晃

△武庫川女子大学学長▽

今年県政百年を迎えた兵庫県は
海から海へつながった数少ない県
である。その兵庫県を端から端ま

で歩いてみたらという構想は、随分前から持っていた。それが、去年の九月神戸新聞からの勧めもあって、県政百年を機会に実行してみようということに決定。早速準備にとりかかった。

まず、春休みを利用して、コースを決めるための偵察隊を送り、五月始めには、神戸新聞社と県教



峰山高原に行く全走隊

育委員会が後援をしてくださることになった。これで大体の下準備は終わったのであるが、それからがまた大わらわ。こういう計画は、その時その場所に行ってみなければ、どうなることやら、さっぱり見当がつかないものだ。

テーマは、①表日本と裏日本の植物分布の境界とその地質との関係。②薬草の採集と民間薬の調査

③方言調査。④民族学的調査で、武庫川女子大学の山岳部員、自然科学部員で調査にあたった。

調査隊は「兵庫県縦断踏破・学術調査隊」と名付け、その他に全走隊、サポーター隊を設けた。全走隊は、下村講師を隊長として、隊員四名、それに神戸新聞の記者カメラマン、計七名である。サポーター隊は各六名ずつの三隊を出し、学術調査隊は三隊に分れた。方言班、民族班、植物班である。

方言班、民族班は自転車で、植物班は、バスと徒歩であったが、何しろ、自転車といっても山道がほとんどで、楽ではなかったようである。

まず、出発は七月七日、午時七時三十分神戸発で淡路島へ。淡路島を踏破した一行は七月九日夕明石へ。ちょうど集中豪雨の折で、ご家族の方々をはじめ、関係者一同の心配は大変なものであった。彼女達は、明石にやっとたどり着いたのはいいが、電車が不通になったためやむなく神戸新聞明石支局に飛び込み、宿を世話してもらったという一幕もあった。

十三年振りの集中豪雨で、七月十二日の県政百年記念式典も、ゴム長靴姿で出席するような状態。

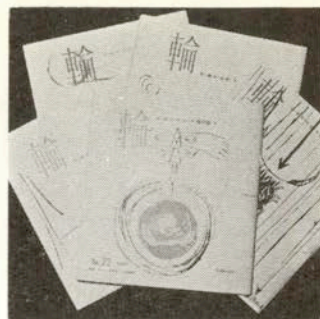
「調査隊」もそんな中での神戸出発で、歓送会もできずそのままバ

スで姫路まで行き、縦断踏破に踏み切ったのである。予定はしばしば変更されるものであるが、今度のような大がかりな踏破を計画し、準備にとりかかった以上、延期するということは、中止することであり、そうした悪条件を押しのける強行軍であった。

七月七日から二十一日までの十三日で全行程を無事踏破した隊員は、疲れも見せず、元気な姿で帰校した。その間には、南淡町、森町長のメッセージを、香住町、長町長のもとに運び、その後香住町長から南淡町長に返書を送り、近く姉妹提携するという親善の役目も果し、成功裡のうちに「兵庫県縦断踏破・学術調査」は終了した。

何の事故も起こすことなく、また各地の町長さん、教育委員会の方々の協力で得られた調査の結果は、目下整理段階なので、九月に予定している報告会を待たなければ詳細は掴めないが、各方面から、多大の期待を寄せていただいている。調査の結果が、何らかの意味で役立てば幸いである。

なお、この調査に当り、関係者各位のご協力に深く感謝したい。



★ある集い★その足あと

輪の会

伊勢田史郎

輪の会は昭和二十八年五月に発足した。中村隆が△黒い輪▽など九篇の詩を、伊勢田史郎が△影▽など九篇の詩を、山本博繁が小説△窓と光と▽一篇を、貝原六一が表紙・カットを、△輪▽創刊号に書いている。当初の同人はこの四人で、この号の後記に中村は次のようなことを書いている。

（前略）ともかく、妙に深刻ぶって悲壮がるよりはまともな時にまともな顔をしている方が楽しし、健康的であるという理由で、ぼくなりに風にそよぐ詩的な「詩」を探してみようと思う。（中略）

ともかく「CLARTE」を廃刊した埋合せと、個々の利害関係が偶然一致したため、当初四人の飲み代をためて二、三カ月に一冊宛出す予定をたてた。追々家族がふえ

れば、それだけ飲み代が浮くという算術である（後略）。

輪の会には特に規約とか綱領はない。一人一党だ。だが同人の間の底に流れているある共通の想念（あえて思想とはいわない）がある。あるように思える。いうならば人間存在の不安とか、人間の根元によこたわる未分なものを掘りおこそうとする努力を、詩、小説批評、絵画のなかにおいて実践しようとしている、といえるのではないか。△輪▽18号（昭和四十年四月）で行った。ベトナム戦争反対・キャンペーンや、神戸—大阪徹夜ベトナム反戦デモ参加（個人参加）などは芸術のなかだけでは表現し得ない何ものが噴きあけ溢れてたものでもあろうか。また、最近、なか・けんじ、中村、伊勢田の三名は広島に出かけてゆき原爆資料館などに強烈な印象を受刻されて帰ってきたが、会内に基金を設け、たとえ少数の人に対してでもいいからヒロシマに行くための旅費を負担しようと案を練っている。

次に現在の同人名をあげる。

赤松徳治（詩・訳詩—ソヴイェト詩—批評）伊勢田史郎（詩・批評）岡見裕輔（詩・小説・批評）海尻敏（詩・批評）各務豊和（詩・批評）貝原六一（絵画）北見哲哉（詩・批評）桑島玄二（詩・批評）里見

一夫（詩）直原弘道（詩・批評）なか・けんじ（詩・批評）中村隆（詩・批評）灰谷健次郎（詩・小説・批評）丸本明子（詩・批評）なお会外からの寄稿も毎号ほとんど二、三名を数え会内にいい意味での刺激をあたえている。例えば二十三号（四十二年七月）でいうなら広田善緒の批評活動、鹿狩浩の訳詩（H・リード）志村辰夫の長詩など。同人の職業はなかなか多彩で、商店主、大学教員、小学教師、不動産業、会社員、銀行員、主婦などなどで社会人としての活動も地道につづけられている。

同人のほとんどが詩集あるいは評論集を刊行しているが、未刊の一、二の同人も今年中にその第一詩集の上梓が予定されている。今後の輪の会の問題点は、同人のひとりひとりが自らのライフワークにどのように取りこんでいくかにあるだろう。また、それが、どのようにに会に反映していくか、にあるだろう。会活動の飛躍的な発展は充分期待されるのだが、同人ひとりひとりの仕事に着実に開花し結実し得ないで終るならば、会活動のみの発展などということは無意味なあだ花の展覧といったものにすぎないだろうから。

☆輪の会・神戸市兵庫区東山町二丁目二二四中村隆方

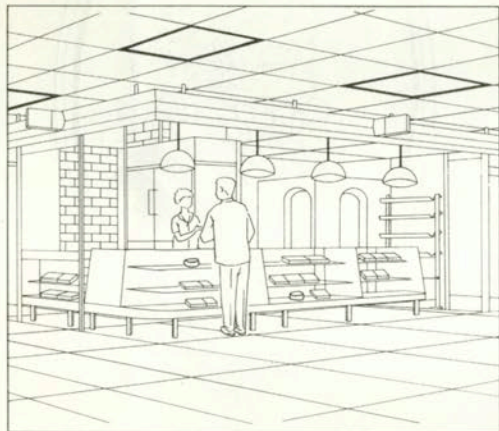
カスカードさんちか進出!

記念謝恩セール

粗品進呈 ← 9月末迄

洋菓子・パンの新星として今評判のカスカードがグレイトさんちかに進出いたしました。今後ともお客さまの食生活の潤いになりたいと念願しております。

カスカードさんちか店 = グレイトさんちか・TEL ☎3755



洋菓子 喫茶



CASCADÉ

カスカード

本店 三宮センター街 TEL ☎33 2993
支店 三宮柳筋店 TEL ☎39 8530
垂水国鉄ショッピングセンター店 TEL ☎76 1964
甲南店 TEL ☎41 2308

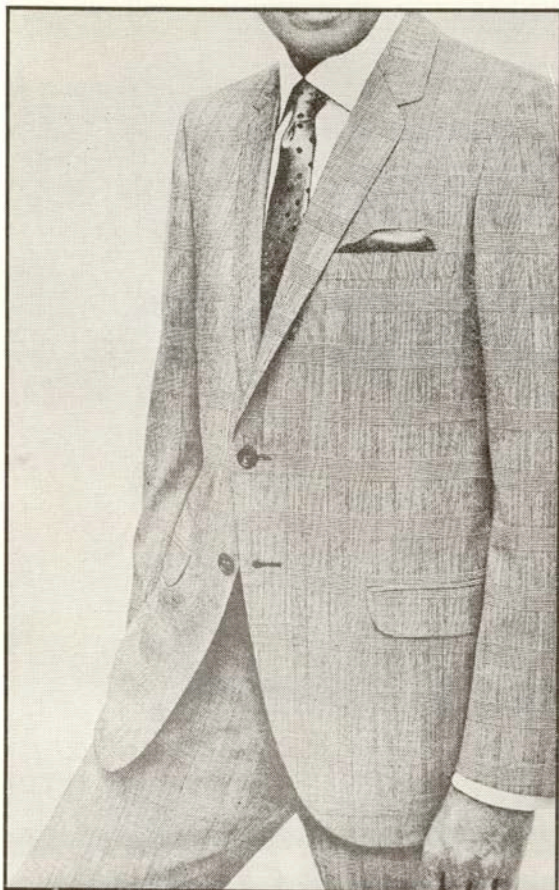


秋の
おでかけは
クロスの靴で

★★★★★
靴と舶来雑貨
★★★★★

クロス

舶来雑貨 神戸トア・ロード TEL ☎1781(代)
婦人靴 三宮地下街(さんちカレディタウン)
大阪阪神百貨店 TEL 361-1201
京都丸物百貨店 TEL ☎1111



O-SHIBATA

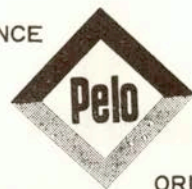


柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106




1870 SINCE



BERLIN
ORIGINAL PELO

日本販売元

元町バザー

神戸・元町1丁目 TEL (33) 1401・7031
東京・日本橋  白木屋 TEL (211) 0511代